

School of Environmental Design

FACT SHEET 2017

- 教育目的・目標
- 教員紹介
- 学年進行における学習目標と成果
- カリキュラム
- 学生コンペ受賞作品
- 入学者出身高等学校
- 就職先、進学先
- 著書紹介
- ホームページ紹介
- 環境設計グローバル・ハブ

環境設計とは

環境設計は、様々な専門分野の学知や技能を結集することで「かたち」を提案し、それをとりまく世界がより善いありかたを実現することを目的とします。

卒業時の教育達成目標

環境設計分野に必要な(1)基礎的能力を高め、(2)4つの想像力を培い、(3)実践的な解決能力を提示する能力を有する人材を育成することです。これらの具体的内容は以下のとおりです。

(1)基礎的能力

(1)-1. 自主的・継続的学習能力:

多様化する環境に対し、自主的かつ継続的に学習する能力。

(1)-2. 調査や文献読解力:

野外調査及び文献資料をもとに、環境設計に係わる対象を正確に把握する能力。

(1)-3. 外国語の能力:

外国語の文献理解と環境設計の分野で国際的に通用するコミュニケーション能力。

(1)-4. 科学的思考力:

数学、自然科学及び情報技術等の科学的分析と応用を用いて環境設計に係わる諸現象のモデル化や最適解を導き出す能力。

(1)-5. 表現能力:

文章表現や情報技術等を活用し、計画・設計の内容を正確に他者に伝えることのできるプレゼンテーション能力。

(1)-6. 議論能力:

論理性に基づいた口頭発表力、討議等において自己の考えを他者に的確に伝えるコミュニケーション能力。

(2)4つの想像力

(2)-1. 空間的な想像力:

あらゆる存在や現象が実際の環境、すなわち具体的な場所や地理的な広がりの中に展開することをイメージしようとする志向とその能力。

(2)-2. 時間的な想像力:

現代の環境が、過去からの遺産で構成されていることを認識しつつ、そのなかで未来志向的な提案をしようとする意欲とその能力。

(2)-3. 他者についての想像力:

社会が異なった歴史や文化に属する多様な人々から構成されていることを自覚し、社会的な少数派の文化的尊厳に配慮しながら、共生や平等、構成の理念に従った設計を行う能力。

(2)-4. 自然の一部としての自己についての想像力:

生き物としての自分を常に意識し、人間や生物の命がいかなる自然の恵沢によって成立しているかについて繊細な感覚を持ちながら、自然生態系への尊敬の念に基づいた設計を行う能力。

(3)実践的な解決能力

(3)-1. 設計能力:

用途、機能、美しさ、快適性を踏まえ、対象のもつ種々の条件を考慮しながら、環境にとって適切、かつ具体的な空間を提示する能力。

(3)-2. 計画・制度立案能力:

環境設計の意味を理解し、社会の要請を踏まえ、既存の制度を前提としつつ、持続可能な社会を達成するための計画とその法規制を含めた制度を立案する能力。

(3)-3. 組織化の能力:

適切な環境を維持するために、制度や計画の継続性を考慮して、人的資源を有効に活用する組織づくりの能力。



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 教授

土居 義岳

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Yoshitake Doi
Professor

【専門分野】

西洋建築史

【Field of Specialization】

History of Western Architecture

【活動概要】

私は、人間が建築や都市や造園をとおしていかに環境をつくってきたかという歴史を研究しています。環境を文化として捉えており、芸術や人文社会科学と関係は浅くはありません。とくにフランスの近世以降が専門ですが、日本や海外の現代建築についての批評も展開しています。設計にも関心があり、建築家も養成してきました。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002282/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 教授

包清 博之

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Hiroyuki Kanekiyo
Professor

【専門分野】

緑地環境設計、景観計画

【Field of Specialization】

Landscape Architecture, Landscape Planning and Design

【活動概要】

主たる研究内容として、オープンスペースを中心とした生活関連空間のあり方を、ランドスケープやアクセシビリティ等の視点から計画論的に追求している。これをまとめた学位論文は日本造園学会賞(研究論文部門)を受賞している。この他、景観と音との関係に関する研究業績や、広域及び地域スケールでの自然・緑地環境資源の保全活用に関わる調査・報告等、造園・緑地計画における幅広い研究に努めている。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002311/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 教授

近藤 加代子

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Kayoko Kondo
Professor

【専門分野】

環境政策、環境経済学、社会思想史

【Field of Specialization】

Environmental Policy, Environmental Economics, History of Social Thought

【活動概要】

持続可能な社会、自然循環型社会および低炭素社会について、それらの社会へ向けてどのような人間行動が必要かについて、個別の行動および社会的な関係行動の両面で、行動特性およびそれを支える社会的な要因(政策、地域社会要因その他)を研究している。

社会的活動としては、地方自治体における環境関連の各種行政施策・計画の審議のほか、市民参加でまちづくりを行うグループの活動など、持続的な地域社会形成の活動を支援している。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002320/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
デザインストラテジー部門 教授
都甲 康至

Design Strategy, Faculty of Design, Kyushu University
Yasushi Togo
Professor

【専門分野】

社会システムデザイン、地域ブランディング、プロジェクトマネジメント

【Field of Specialization】

Social Design, Local Branding, Project Management

【活動概要】

私の研究室では21世紀の新たな都市像として「自律分散協調型社会」を掲げ、地方都市の自律を促進し、自律分散立地した都市同士が協調・連携して新たな社会システムを形成するためのデザイン方法論について、地域活性化システム、地域ブランディング、スマートシティ、エネルギーマネジメント等をテーマに自治体や電力関連企業等と共同研究を行っています。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K003017/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 教授
笹渕 祥一

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Shoichi Sasabuchi
Professor

【専門分野】

統計数学

【Field of Specialization】

Mathematical Statistics

【活動概要】

専門の統計数学の分野における主要研究テーマは「順序制約条件の下での統計的推測」である。これは、母集団の分布を規定する複数個の母数の間に順序による制約条件がある場合の統計的推測の方法を研究するものである。最近の重要な研究成果は、統計数学の分野で最も権威のある国際的学術誌の一つである米国数理統計協会発行のThe Annals of Statistics (2003, October) に掲載されている。現在は、引き続き、その論文の成果を改良する研究に取り組んでいる。また、2007年6月に朝倉書店から出版された「統計データ科学事典」の「順序制約条件下の多変量推測理論」の項の執筆も担当した。さらに、このテーマとは別に、卒業研究生や大学院生とともに、人間、社会、芸術、文化、等に関する様々なデータの統計学的分析を行っている。その成果の一つは、2006年3月に発行の「芸術工学研究」において「評論」として発表された。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002288/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 教授
谷 正和

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Masakazu Tani
Professor

【専門分野】

人類学

【Field of Specialization】

Anthropology

【活動概要】

主な研究活動としては、1998年からバングラデシュにおける地下水砒素汚染問題解決のための総合学術研究の一環として、砒素被害を受けている住民の特性、砒素対策実践のための文化習慣・社会組織の理解を目的として、継続的な村落調査を行っている。さらに2004年からネパールで、2007年からは中国、メコンデルタ(ベトナム、カンボジア)において、同様の研究に従事している。また、環境問題と貧困の関係の研究のため、2009年からはバングラデシュ・テクナフ半島の森林破壊と地域住民の生業活動の関係について調査・研究を行っている。

社会活動として、NPO法人アジア砒素ネットワークに参加し、砒素問題に関する啓発、実践活動を行っている。2009年からはJICA草の根事業として砒素中毒患者支援事業を、2010年からはネパール・ナワルバラシ郡の砒素汚染に対する地域の対処能力向上事業を総括している。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002349/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 教授

田上 健一

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Kenichi Tanoue
Professor

【専門分野】

建築計画・建築設計

【Field of Specialization】

Architectural Planning and Design

【活動概要】

住宅をはじめとして教育・文化・医療施設など、日常生活に不可欠な建築のデザイン計画を専門としています。特に、人間と環境が相互に浸透し合う個性的で魅力的な空間の実現方法を、ユーザーの視点に立脚して考えていきます。建築や地域のデザイン(調査・企画・計画・設計)に携わる専門家の養成が主目標となります。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002376/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

大井 尚行

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Naoyuki Oi
Associate Professor

【専門分野】

都市・建築環境工学、環境心理学

【Field of Specialization】

Urban and Building Environmental Engineering, Environmental Psychology

【活動概要】

都市・建築の環境心理評価に関する研究

個人の幸福から地球環境までを視野に入れ、良好な都市・建築環境を実現・持続していくための基礎として、人間・環境系の心理生理的な関係について知るために以下のような調査・研究を行っている。

1. 照明の安全・快適性に関する研究
2. 輝度分布に基づく視環境評価・設計手法の研究
3. 建築・都市空間における人間の領域形成に関する研究
4. 経路探索と空間認知に関する研究
5. 日本人の美意識に関する研究
6. 室内空間の開放感・分離感に関する研究
7. 視環境のシミュレーション手法に関する研究
8. 市街地景観の心理評価に関する研究
9. 快適性評価のメカニズムに関する研究
10. 環境の時間的変化による心理的効果に関する研究

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002342/index.html>

【専門分野】

哲学、倫理学、美学、デザイン原論

【Field of Specialization】

Philosophy, Ethics, Aesthetics, Fundamental Theory of Design

【活動概要】

自由主義や功利主義に代表される近代的な倫理学を特徴づけてきたのは、原則として示される特定の倫理規範の妥当性の如何であり、その規範と向き合う責任ある倫理的主体の想定であった。しかしながら今日の社会を支配するのは、ある特定の規範体系ではなく、その複数の並立であり、その正当なる適用のあり方が具体的コンテキストにおいていくらかでも変容する状況である。特定の規範の単数的貫徹がむしろ非倫理的な色彩を帯びる状況において、倫理はいかにして可能かについて考察することが本研究の目的である。倫理学は、特定の倫理規範の妥当性の検証から、無限に変動する環境適応の観点に立って、その適応可能性を最大化するオプションの選択へと重心を移すことになる。以上のような観点からの教育・研究を追求する。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002343/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
コンテンツ・クリエイティブデザイン部門 准教授

古賀 徹

Content and Creative Design, Faculty of Design,
Kyushu University
Toru Koga
Associate Professor



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

吉岡 智和

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Tomokazu Yoshioka
Associate Professor

【専門分野】

建築構造

【Field of Specialization】

Structural Engineering

【活動概要】

建築物の安全性、特に耐震安全性を向上させるための新たな構法に関する開発研究を行っています。主な研究テーマとして、地震や台風といった災害から建物を守るための安価で高性能の建築技術の開発とその設計法の確立に取り組んでいます。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002347/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

朝廣 和夫

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Kazuo Asahiro
Associate Professor

【専門分野】

緑地保全学

【Field of Specialization】

Environmental Conservation and Restoration

【活動概要】

研究テーマ：都市近郊及び農山村地域における自然環境の保全・復元に関する研究

「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要でない

これは、言い尽くされた、Rachel Carson女史のThe Sense of Wonderの一説です。「緑地保全」の「保全」、「Conservation」という語は、英国では時に、「子供を育てるように」という例えで説明されることがあります。“Taking care”すなわち、なるようにならない「自然」(子供)は、手をかけながら、目をかけながら育てること。もしくは、付き合うこと。家族が、地域が、自然と共に健やかな生活を持続的に時間と空間を共有するには、そのような姿勢と行為が必要です。

主な研究テーマは、里地・里山の保全、二次林の生態的研究、災害時の共助による農地復旧に関する研究、ボランティアツーリズムに関する研究、バングラデシュにおける緑地保全に関する研究などです。これらの研究の流れの中で、将来は、小規模ビジネスとして成り立つ里地・里山保全モデルはどのようにあるべきか。人口減少社会の中で中山間地の農村はどのように発展するべきか。伝統的な作物や景観をどのように価値付け産業開発を通じて保全していくべきか。互助・共助が連携できるコミュニティはどのように創出できるか。里地・里山保全の課題をアートにより展開できるか。今後は、より現実社会の課題に対応できる諸活動を展開したいと思います。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002337/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

藤田 直子

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Naoko Fujita
Associate Professor

【専門分野】

ランドスケープエコロジー

【Field of Specialization】

Landscape Ecology

【活動概要】

ランドスケープエコロジーの視点に基づいて時空間的に人と地域を捉え、景観の構造や機能や変化過程を様々なスケールで解析し、風土に根ざした自然環境と文化・人々との関係の解明に向けた研究を行っている。将来世代に向けた望ましいエコロジカルデザインとは何かについて探求を行っていく。

【研究テーマ】

1. ランドスケープエコロジーに基づくGISを用いた地形と社叢空間を軸とした配置特性の解析
2. 里山一社寺林を対象にした我が国固有の自然環境・文化環境に即した森林緑地評価システムの構築およびそれを通じた都市近郊緑地の再評価に関する研究
3. ミャンマー国の森林資源の潜在性に着目した地域的特性考慮型緑地評価システムの構築
4. アフリカ・マダガスカル国における森林減少の実態解明と人間活動による保全維持構造に関する研究

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K003751/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

井上 朝雄

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Tomo Inoue
Associate Professor

【専門分野】

建築構法計画

【Field of Specialization】

Building Construction Planning

【活動概要】

専門は「建築構法計画」という、建築をつくる仕組みや構成するシステムを研究対象とする分野です。ファサード・エンジニアリングをキーワードに、建築物の外壁のあり方やガラス建築の構法の変遷などを研究しています。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002410/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

鵜飼 哲矢

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Tetsuya Ukai
Associate Professor

【専門分野】

建築設計・デザイン、都市デザイン

【Field of Specialization】

Architectural Design, Urban Design

【活動概要】

建築や都市の意匠設計(デザイン)を中心に、人間社会の在り方や個人の在り方を研究しています。建築や都市は人類の英知や欲望のアーカイブですから、それをよく見つめ直すことから新しい創造が生み出されると思います。単に九州や日本にとどまらず、世界に向けて通用する思考力をもった専門家の養成を目指しています。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K003546/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
デザインストラテジー部門 准教授

HALL MICHAEL

Design Strategy, Faculty of Design, Kyushu University
Michael William Hall
Associate Professor

【専門分野】

英語、環境リスクマネジメント

【Field of Specialization】

English Skills, Environmental Risk Management

【活動概要】

土壌汚染対策環境リスクマネジメント

日本社会を実際に体験したくて、アメリカから来日したのが1982年。当時に比べ国際市場における競争は益々エスカレートする一方です。国際市場に進出し勝ち残っていくためには、英語でのプレゼンテーションやネゴシエーションは重要であり必要不可欠です。皆さんの将来のニーズに備え実用的な英語の習得にトライしましょう。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K003018/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 准教授

加藤 悠希

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Yuki Kato
Associate Professor

【専門分野】

日本建築史

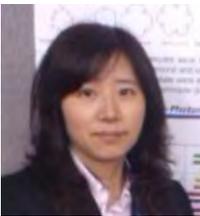
【Field of Specialization】

History of Japanese Architecture

【活動概要】

専門は日本の建築の歴史で、江戸から明治時代の人々が建築にどのような価値を見いだしていたか、そしてどのような考えをもって建築をつくっていたかを、研究しています。建築そのもの、また建築に対する人の関わり方(つくる、使う、見る、壊す、など)を、可能な限り多様な視点で読み解いていきたいと考えています。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K006446/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 講師

今坂 智子

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Tomoko Imasaka
Lecturer

【専門分野】

環境化学

【Field of Specialization】

Environmental Chemistry

【活動概要】

PM2.5や環境汚染物質、ポジティブリスト物質など環境をとりまく様々な物質の理論予測や計測に取り組んでいます。基幹教育も担当予定で、高校の化学クラブ生のプレゼン研修会などのアウトリーチ活動も行っていきます。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K003584/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 助教

福島 綾子

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Ayako Fukushima
Assistant Professor

【専門分野】

文化遺産保存

【Field of Specialization】

Historic Preservation

【活動概要】

主な町並み、農山村、景観、遺跡等の不動産の文化遺産保存計画・管理。ユネスコにて遺跡保存修復事業の実務、(財)ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所にて遺産保護研修のコーディネイトに携わった後、フルブライト奨学生として米国留学。ペンシルバニア大学スクール・オブ・デザインの文化遺産保存プログラム修士課程を修了。遺産管理へのGIS(地理情報システム)の応用の研究等を行う。帰国後、(株)キャドセンターのデジタルアーカイブ・ラボにて研究員として勤務。不動産・動産文化遺産の3次元アーカイブ、3次元WebGISの活用などを研究する。

2006年から九州大学芸術工学研究院環境計画部門にて助手として勤務。現在の研究テーマは、文化的景観保全計画の手法に関する研究、及び、文化遺産保存の高等専門教育プログラムの調査研究。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002904/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 助教

川本 陽一

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Yoichi Kawamoto
Assistant Professor

【専門分野】

建築・都市環境工学

【Field of Specialization】

Architectural and Urban Environmental Engineering

【活動概要】

現代は世界の約50%の人が都市に暮らしており、都市居住者はその内の大部分の時間を建物の内部で過ごします。そして人は生活する上で、周囲の環境から影響を受け、また人は周囲の環境に影響を与え、相互に作用を及ぼしています。居住環境の快適性を目指しつつ、自然環境への負荷を低減させる持続可能な社会の形成のため、主に温熱環境の観点から取り組んでいます。

【社会活動】

日本建築学会、空気調和・衛生工学会、日本気象学会所属

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K004625/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 助教

岩元 真明

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
Masaaki Iwamoto
Assistant Professor

【専門分野】

建築デザイン

【Field of Specialization】

Architectural Design

【活動概要】

アジアにおける近現代建築のデザインに関する研究を行っています。20世紀の建築設計理論は西欧中心に構築されてきました。しかし、気候風土や文化の異なるアジアでは独自の近現代建築が生まれています。これらを積極的に評価し、建築デザインの可能性を広げたいと考えています。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K006216/index.html>



九州大学大学院芸術工学研究院
環境デザイン部門 助教

LOH Wei Leong, Leon

Environmental Design, Faculty of Design, Kyushu University
LOH Wei Leong, Leon
Assistant Professor

【専門分野】

デザイン教育

【Field of Specialization】

Design Education

【活動概要】

情報とコンピュータ技術の急速な進歩、グローバル化、知的財産権と環境に関連する問題の背景に設定して、私はデザイン教育が地域及びグローバルな問題に対応できる方法に関心しています。アジアにおける中高等教育プロダクトデザイン教育を中心に、カリキュラムの企画と開発フレームワークやデザイン思考スキルの習得方法に関する研究をしています。

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K006396/index.html>

1 学年

なにを学ぶか？

環境設計の入門として環境の概念、計画・設計のアプローチ、そして、建築、社会、自然等の観察の視点を学びます。さらにCAD、スケッチ、模型制作などを修得します。

なにが、できるようになるか？

先入観にとらわれずに観察することで、自分自身の問題意識が芽生えます。頭の中で自由に図形を捉えたり、図や表で自分の考えを整理したりすることができるようになります。

2 学年

なにを学ぶか？

比較的単純な条件のもとでの住空間や公共建築などのプロジェクトを学びます。またそれを可能にする、テクノロジー、社会、人間にかんする学問も修得します。

なにが、できるようになるか？

空間とはなにか、建築とはなにか、それを可能にする技術や文化はなにかなどを、理論的に考察したうえで、オリジナリティのある設計ができるようになります。

3 学年

なにを学ぶか？

複合的な性格のある設計を学びます。あるていど複雑な条件のもとでの、景観や都市のプロジェクトを提案することを学びます。またそれを可能にするテクノロジー、社会、人間、歴史にかんする学問も修得します。

なにが、できるようになるか？

都市や社会とはなにか、自然とはなにか、景観とはなにか、それらをどんな制度や価値観や錯綜した背景が構成しているかを把握しつつ、設計できるようになります。

4 学年

なにを学ぶか？

前学期では、2年、3年のプロジェクトをふまえたより総合的な設計課題を学びます。同時に、より専門的なテーマを深く掘り下げ、設計に立脚した研究を学びます。

なにが、できるようになるか？

建築家からランドスケープまで総合的に設計できるようになります。またその設計のために、特定の領域を詳しく調べ、検証し、新たな知見を加えて、学問の発展に貢献できる研究能力も身につけます。

オ. 履修細目等

【環境設計学科】履修細目一覧(基幹教育科目)

薄灰色の枠は2年次以降の授業科目等を示す。

卒業要件単位数	科目区分	科目区分毎の最低修得単位数	授業科目 ※1 (科目名の右隣にある括弧付き数字は単位数)	
卒業要件 128単位	基幹教育 セミナー	1単位	【必修科目】 基幹教育セミナー(1)	
	課題協学科目	2.5単位	【必修科目】 課題協学科目(2.5)	
	基幹教育科目 48単位 〔1年次に 36単位を 修得〕	第1外国語 英語8単位	言語文化科目 ※2	学術英語1 学術英語1・リーディング・リスニングA(1), 学術英語1・リーディング・リスニングB(1)
				学術英語2 学術英語1・ライティング・スピーキングA(1), 学術英語1・ライティング・スピーキングB(1)
				学術英語3 学術英語1・CALL-A(1), 学術英語1・CALL-B(1)
				学術英語ゼミ 学術英語認定科目(各2)
		第2外国語 1か国語選択 4単位	言語 文化 基礎 科目	ドイツ語 I(各1), ドイツ語II(各1), ドイツ語プラクティクムI(1)
				ドイツ語 III(各1), ドイツ語プラクティクムII(1)
				フランス語 I(各1), フランス語II(各1), フランス語プラクティクI(1)
				フランス語 III(各1), フランス語プラクティクII(1)
				中国語 I(各1), 中国語II(各1), 中国語実践I(1)
				中国語 III(各1), 中国語実践II(1)
				ロシア語 I(各1), ロシア語II(各1), ロシア語フォーラム(1)
				ロシア語 III(各1)
	韓国語 I(各1), 韓国語II(各1), 韓国語フォーラム(1)			
	韓国語 III(各1)			
	スペイン語 I(各1), スペイン語II(各1), スペイン語フォーラム(1)			
	スペイン語 III(各1)			
	日本語	【外国人留学生対象科目】 日本語I(1), 日本語II(各1), 日本語III(各1), 日本語IV(各1) 日本語V(1), 日本語VI(1), 日本語VII(1)		
	言語文化自由選択科目	速習エスペラント, 速習オランダ語以外は2年次以降に開講する。		
言語文化古典語科目				
文系ディシ プリン科目	4単位	【選択必修科目】以下の科目は1年次に開講する。 哲学・思想入門(2) 社会思想史(2) 先史学入門(2) 歴史学入門(2) 文学・言語学入門(2) 芸術学入門(2) 文化人類学入門(2) 地理学入門(2) 社会学入門(2) 心理学入門(2) 教育基礎学入門(1) 現代教育学入門(1) 法学入門(2) 政治学入門(2) 経済学入門(2) 経済史入門(2) The Law and Politics of International Society(2)		
理系ディシ プリン科目	18.5単位	13.5単位	【必修科目①】以下の科目は1年次に開講する。 微積分学(1.5) 線形代数(1.5) 基幹物理学I A(1.5) 図形科学(1.5) 空間表現実習I(2) 空間表現実習II(2) 情報科学(1.5) 自然科学総合実験(基礎)(1) 自然科学総合実験(発展)(1)	
		1.5単位	【選択必修科目】以下の科目は1年次に開講する。 基幹物理学I B(1.5) 基礎化学(1.5) 基礎生物学概要(1.5) 地球科学(1)	
		3.5単位	【必修科目②】以下の科目は2年次以降に開講する。 数理統計学(1.5) デザイン史(2)	
サイバーセキュ リティ科目	1単位	【必修科目】 サイバーセキュリティ基礎論(1)		
健康・スポ ーツ科目	1単位	【必修科目】 健康・スポーツ科学演習(1)		
総合科目	1.5単位	フロンティア科目 オープン科目		
高年次基幹 教育科目	2単位 ※3			
その他	4.5単位	(1年次) 2単位	言語文化科目, 文系ディシプリン科目, 理系ディシプリン科目, 健康・スポーツ 科目, 総合科目から修得する。 言語文化科目, 文系ディシプリン科目, 理系ディシプリン科目, 健康・スポーツ 科目, 総合科目, 高年次基幹教育科目から修得(※4)	
専攻教育科目	80単位		【1年次】 環境設計基礎I(2) 環境設計基礎II(2) 2年次以降の履修及び詳細は開設学期別・必修選択別専攻教育科目一覧表(11 ページ)を参照	

※1 表中に記載されている科目以外にも開講される科目があるので、「平成29年度基幹教育履修要項」の「基幹教育科目開講一覧」を参照すること。

※2 第1・第2外国語の履修の詳細については「平成29年度基幹教育履修要項」を参照すること。

※3 高年次基幹教育科目は2年次以降に2単位以上修得すること。

※4 2年次以降において芸術工学部他学科・他学部の専攻教育科目を修得した場合は、「その他」の単位に含めることができる。

【環境設計学科】専攻教育科目配当表

授業科目	授業形態	単位数	必修指定	毎週時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
環境設計基礎Ⅰ	講義	2	◎	2									
環境設計基礎Ⅱ	講義	2	◎		2								
構造理論	講義	2	◎		2							◆	
環境材料論	講義	2	※1		2								
環境調整システム論	講義	2	※1		2								
環境保全論	講義	2	※1			2							
建築デザイン計画論	講義	2	※1			2							
緑地環境設計論	講義	2	※1			2							
環境構法論	講義	2	※1			2							
環境人類学	講義	2	※1			2							
都市環境設計論	講義	2	※1			2							
環境社会経済デザイン論	講義	2	※1			2							
建築法規	講義	1	○			2							
環境形成史	講義	2	※1				2						
建築空間設計論	講義	2	※1				2						
構法設計論	講義	2	○				2						
設備計画論	講義	2	○					2					
歴史環境設計論	講義	2	※1					2					
環境文化財論	講義	2	※1					2					
環境倫理学	講義	2	※1					2					
環境情報論	講義	2	※1					2					
構造システム論	講義	2	※1					2					
ポートフォリオマネジメント	講義・演習	2	※1						2				
建築生産	講義	2	○						2				
空間デザイン実習	演習	2	◎		4								
空間プロジェクト	演習	4	◎		6								
空間情報分析実習	演習	2	◎			4							
建築プロジェクト	演習	4	◎			6							
基礎造形	演習	2	○			4							
ランドスケーププロジェクト	演習	4	◎				6						
都市プロジェクト	演習	4	◎					6					
環境総合プロジェクト	演習	4	○						6				
緑地環境実習	演習	1	※2		2								
環境設計文献講読	演習	2	※2				2						
環境テクノロジー実習	演習	2	※2				4						
歴史環境実習	演習	1	※2					2					
卒業研究Ⅰ	演習	2	◎						4	4			
卒業研究Ⅱ	演習	4	◎							8	8		
知覚心理学	講義	2	○		2								
主観評価法	講義	2	○				2						
推測統計学	講義	2	○				2						
芸術文化環境論	講義	2	○				2					◆(芸術情報設計学科開設科目)	
インターンシップ(学部)	講義・演習	2	○					2		2			
デザインストラテジー基礎	講義・演習	2	○							2			

授業科目	授業形態	単位数	必修指定	毎週時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
芸術工学特別演習 1	講義・演習	1	学部内自由科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 2	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 3	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 4	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 5	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 6	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 7	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 8	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習 9	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習10	講義・演習	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
芸術工学特別演習11	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習12	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習13	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習14	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習15	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習16	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習17	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習18	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習19	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
芸術工学特別演習20	講義・演習	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

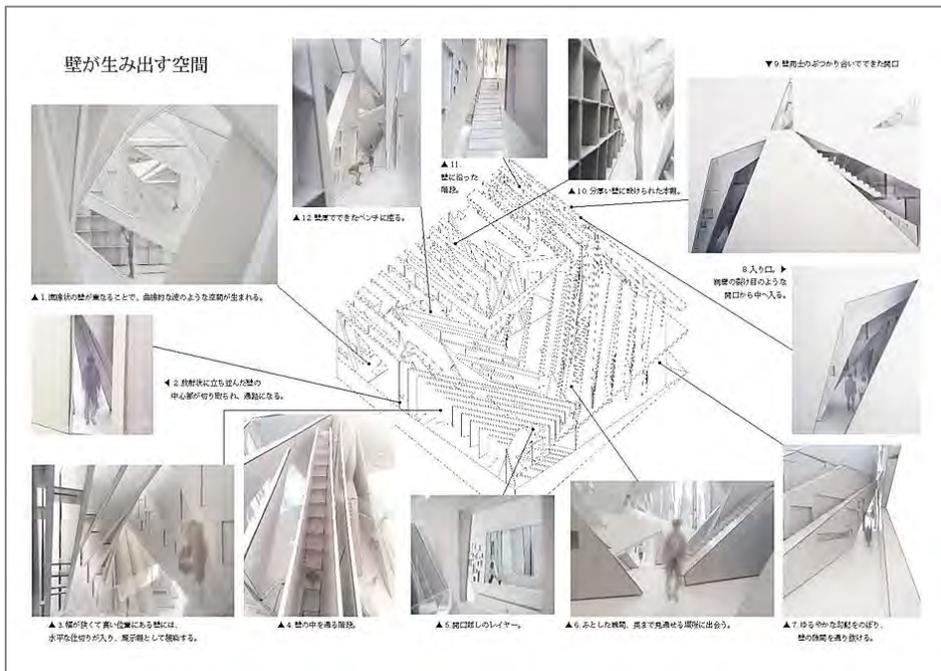
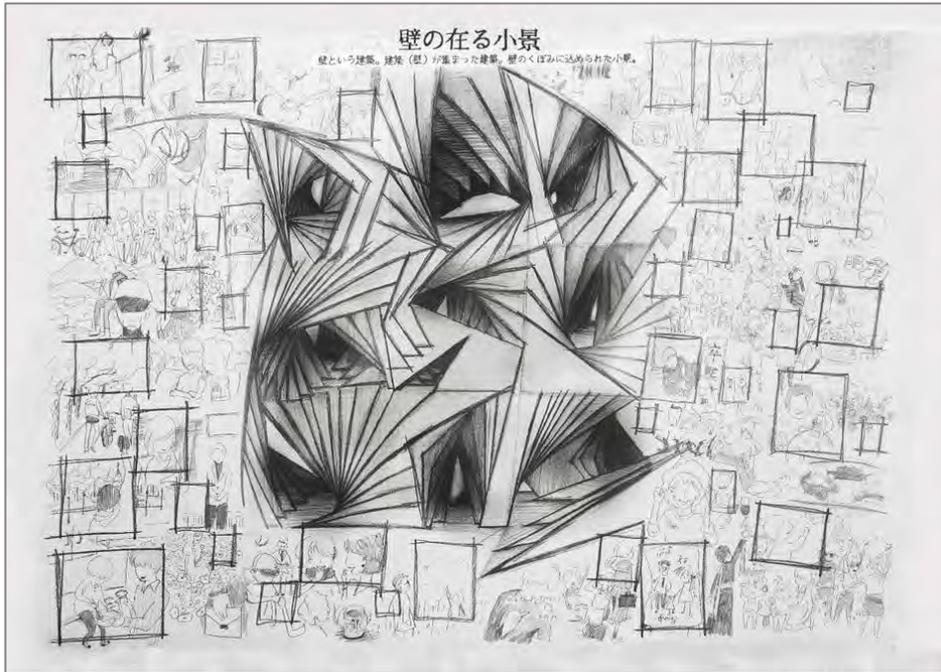
注1) 「必修指定」の欄中◎は必修科目，※1，※2は選択必修科目，○は選択科目であることを示す。
 選択必修科目は※1の科目から24単位，※2の科目から3単位を修得しなければならない。

注2) 備考欄の◆印は，学科間共通教育科目を示す。

注3) 卒業研究Ⅱの履修については，卒業研究Ⅰの単位修得を条件とする。

壁の在る小景

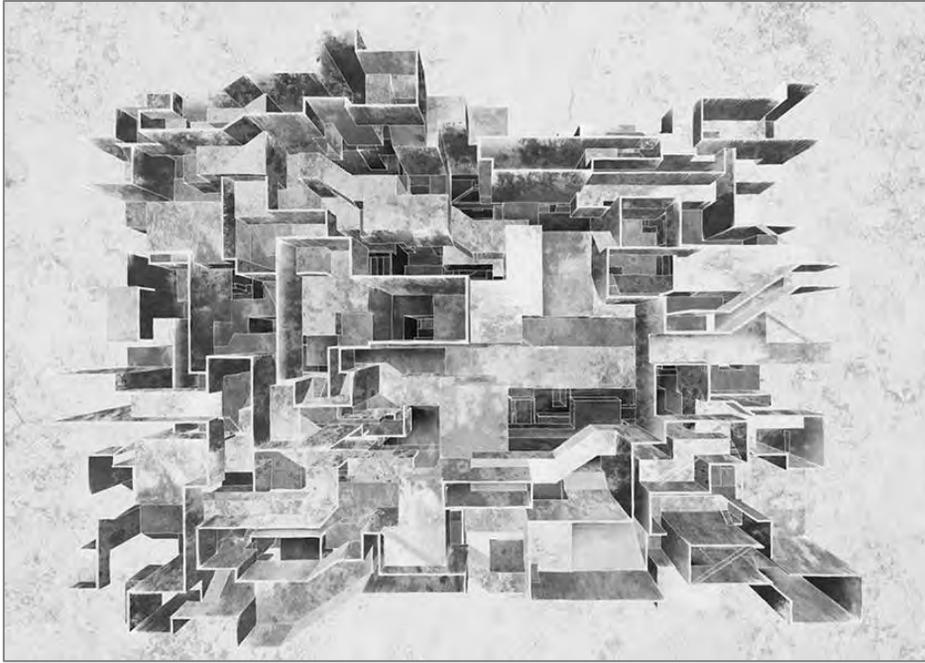
倉員香織



受賞：せんだいデザインリーグ2016 日本三
 主催：仙台建築都市学生会議・せんだいメディアテーク
 受賞：Design Review 2016 JIA賞
 主催：デザインレビュー2016学生実行委員会

街的空間試行

武谷 創

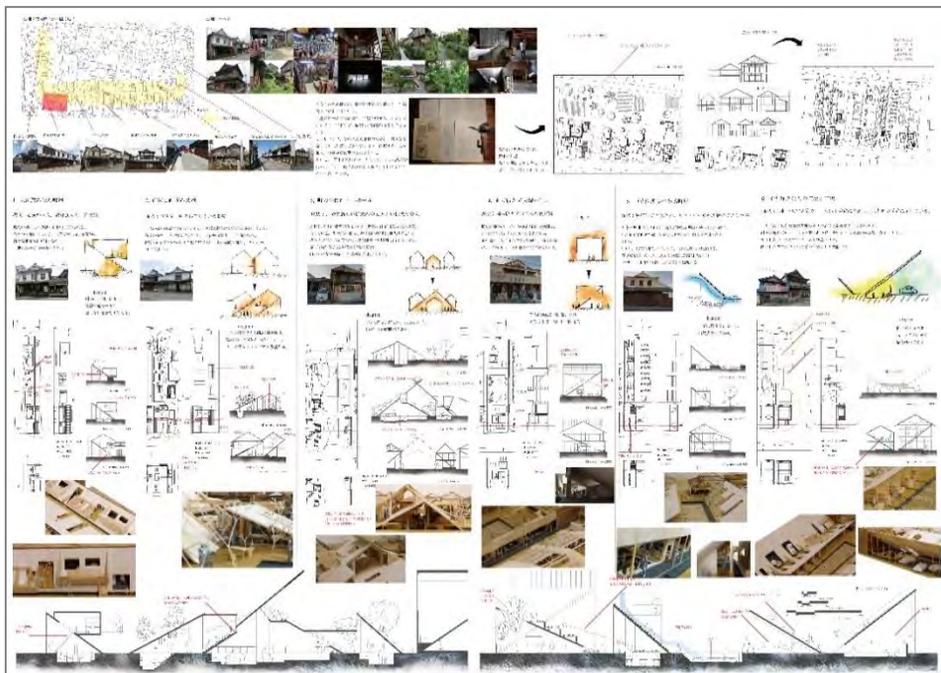
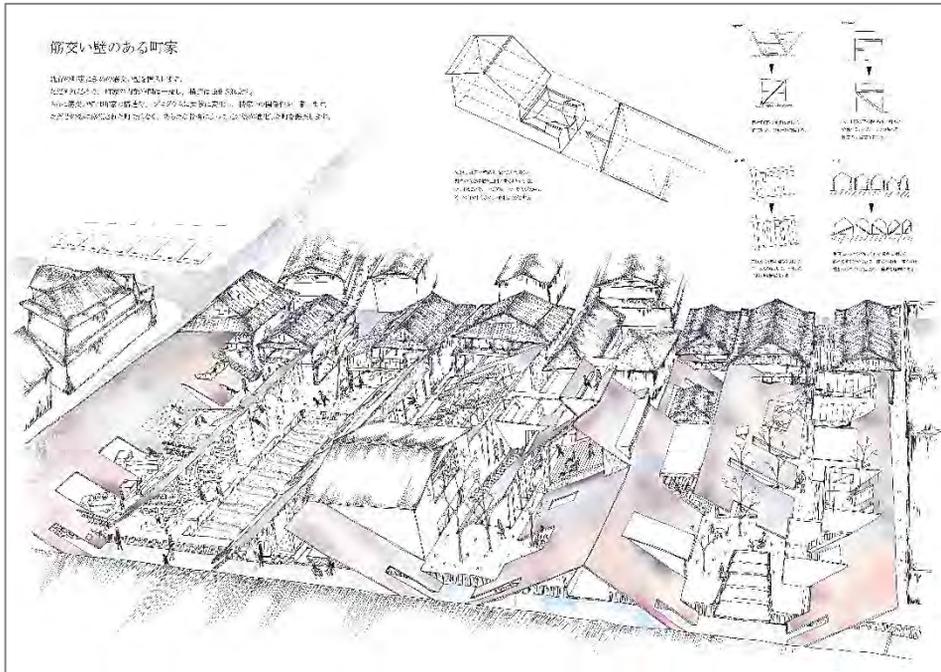


受賞: Design Review 2016 JIA賞

主催: デザインレビュー2016学生実行委員会

筋交い壁のある町家

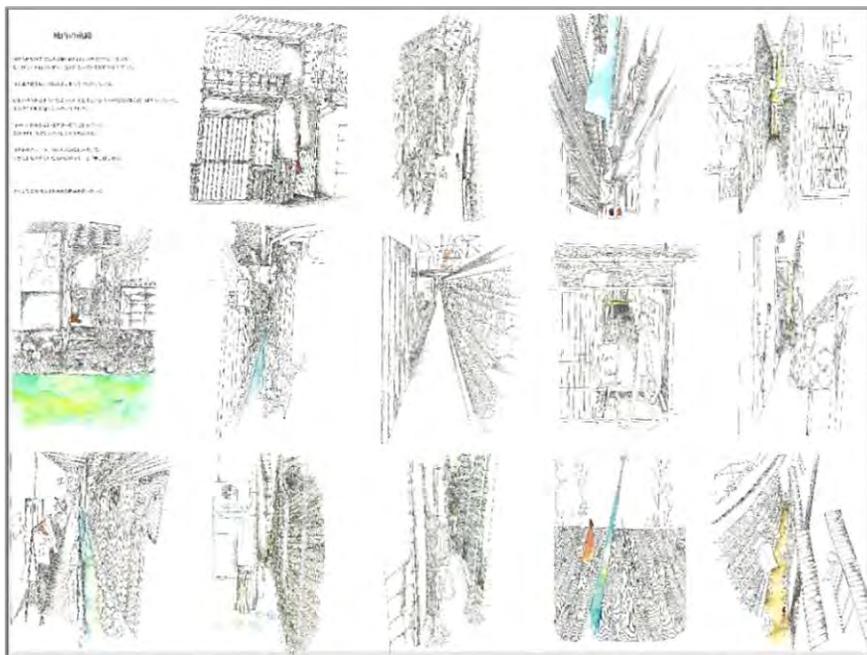
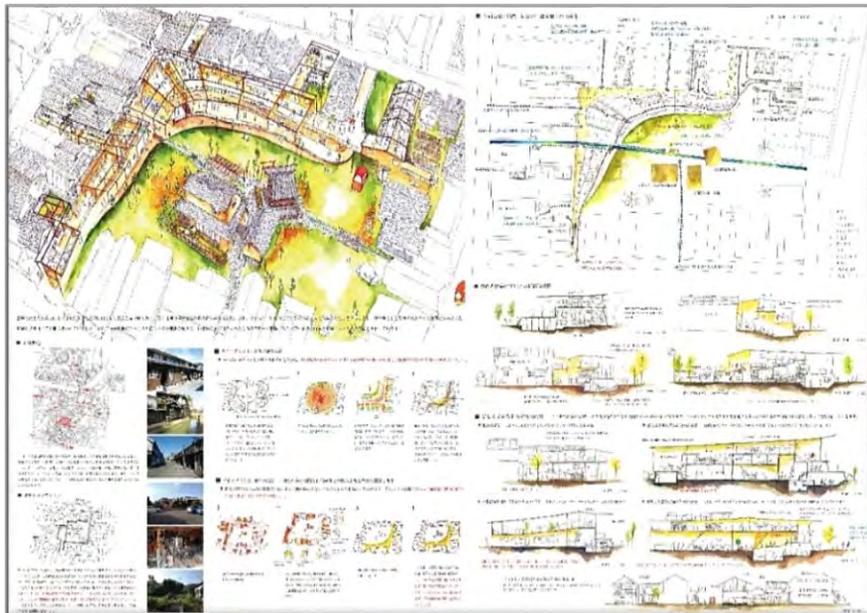
伊藤高基



受賞: 建築新人戦2015 最優秀新人賞
 建築新人戦アジア大会 最優秀新人賞
 主催: 建築新人戦実行委員会

境内の軌跡

伊達一穂



受賞:建築新人戦2014 優秀新人賞
アジア建築新人戦2014 準優勝
主催:建築新人戦実行委員会

折り織り屋根

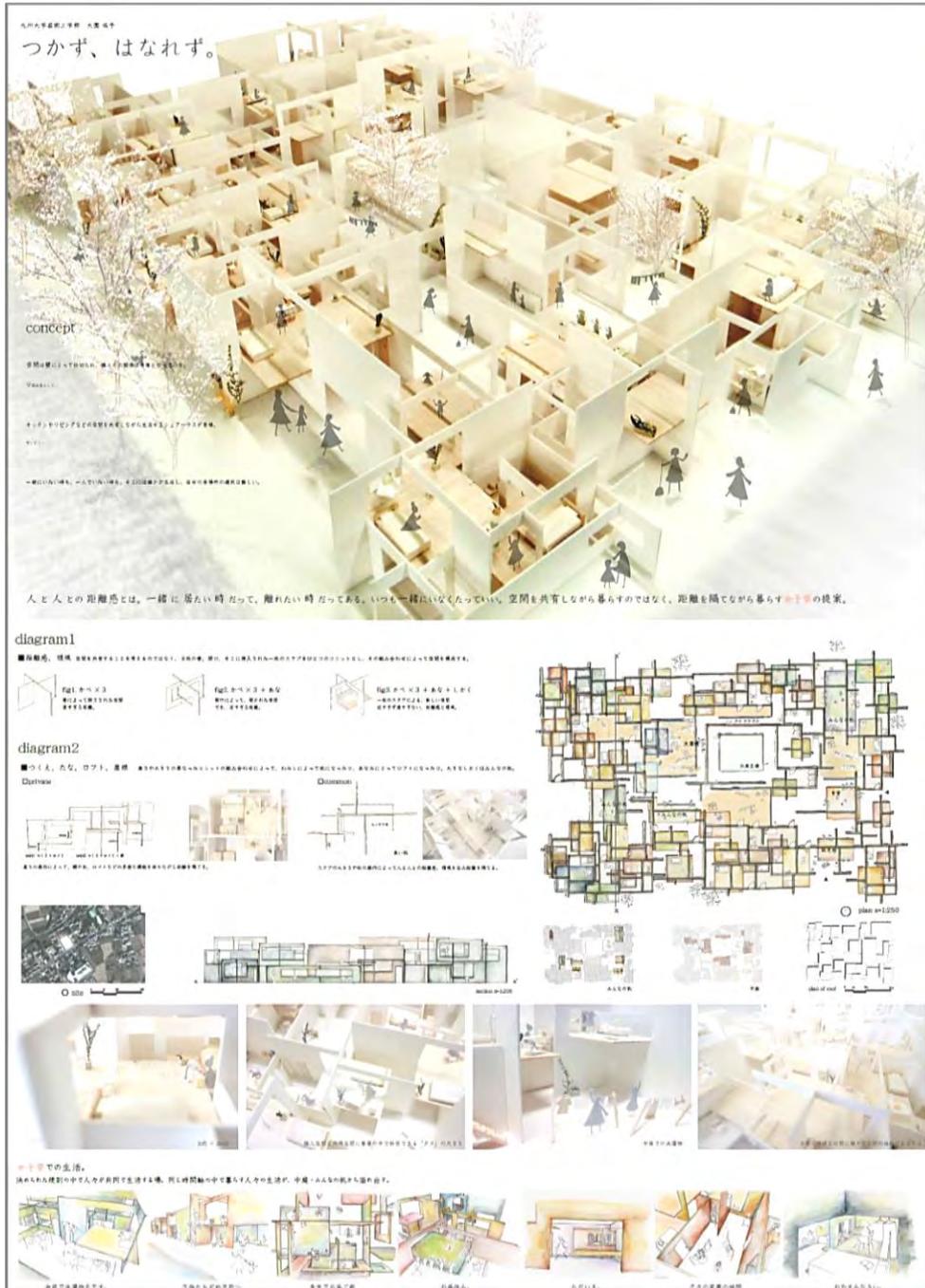
古園 さわ



受賞:福岡デザインレビュー 2013 西沢立衛賞
 主催:福岡デザインレビュー 2013 実行委員会

つかず、はなれず。

大園咲子



受賞: デザイン女子No.1決定戦 2013 NAGOYA 特別賞

主催: デザイン女子No.1決定戦 実行委員会

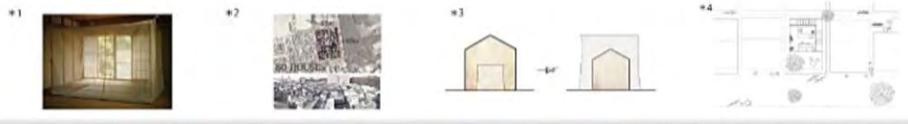
小さなへや、大きなカヤ

中土居宏紀、辻裕太



小さなへや、大きなカヤ

昔、モンスーン気候で、生きていくための知恵として注み込まれた紙張という物質を、現代に建築化する。紙張は紙の中心を軸としながら面を折る構造であり、高層多層で中心の住居形式を採りつつ日本の住環境で馴染まれてきた。(*) 現在は気候変動を契機とした都市中心の住居形式への変化。それにともなう都市の性格により、紙張の存在は消えつつある。紙張によって形成される内外空間の類似性・相違性無し、それを空間に最大限に引き込むことにより日本の狭小な住居環境にも適応しうる、おもしろい住居形式を提案する。紙張は高層住宅の形態する本質的な居住形態。(**) 手段としては紙張と建物の関係を以て、差別的な空間によって異なる大きな内外空間の連続をつくる。(**) 紙張によって形成される大きな内外空間の連続性によって都市の性格は変わらねばならない。紙張の存在を許さざるを得ない大きな内外空間となる。また、紙張の性質により、高層を許さながらもゆるやかな上層を最大限に享受できる住環境を狭小密集地においても生み出すことができる。(**) カヤによって出来る枠組を軸とし、住環境の改善とともに、豊潤して住居の居住性をよりおもしろく架け橋でつなぐことが出来ることを考えたい。



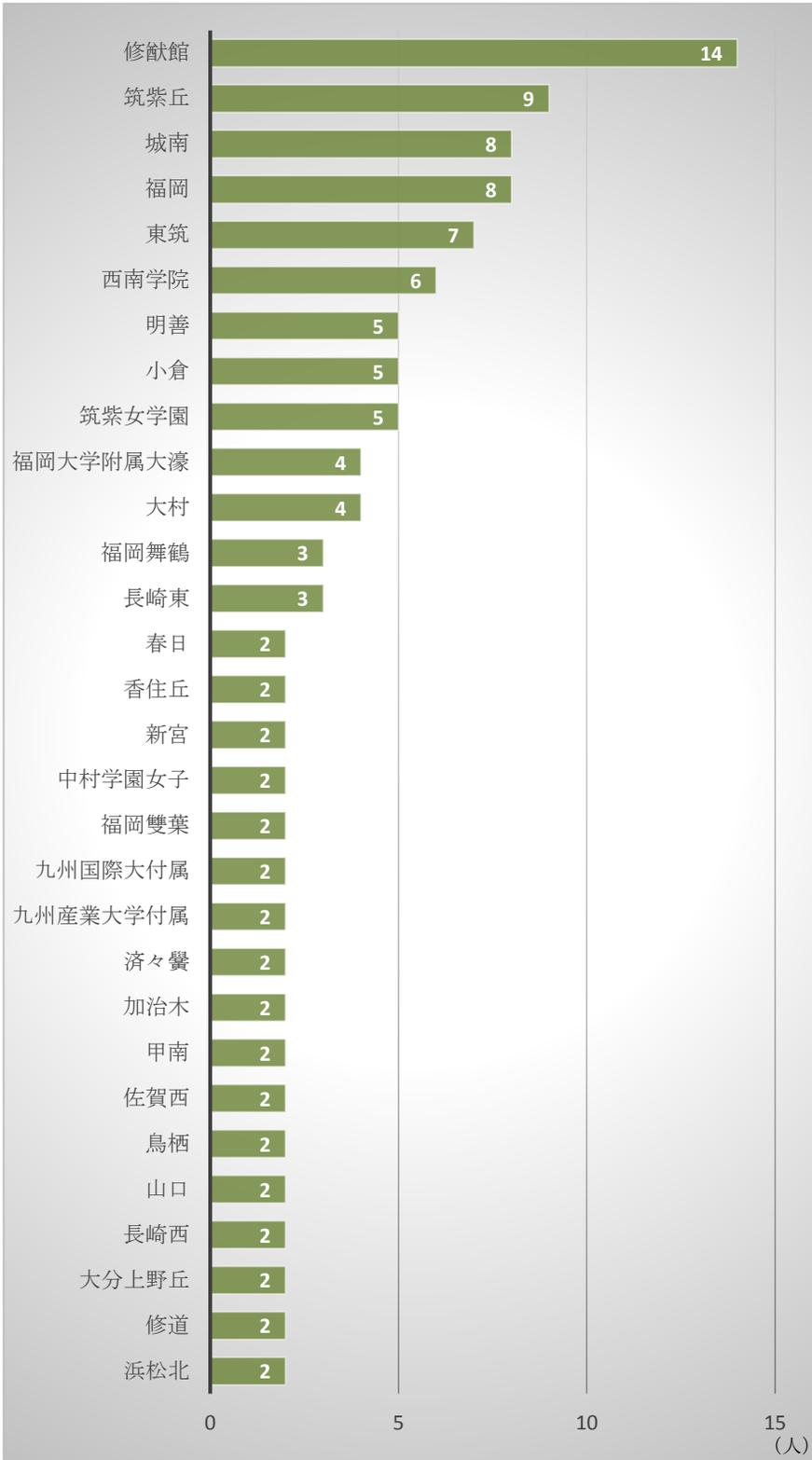
受賞: キルコス国際設計コンペティション2012

大西麻紀賞 銅賞 / 門脇耕三賞 銅賞

主催: キルコス国際建築設計コンペティション実行委員会

1名のみ入学

- | | |
|--------|----------|
| 筑紫 | 札幌開成 |
| 筑紫台 | 札幌南 |
| 筑前 | 東京学芸大附属 |
| 福岡中央 | 藤嶺学園藤沢 |
| 上智福岡 | 横須賀 |
| 東福岡 | 船橋 |
| 城東 | 磐田南 |
| 伝習館 | 岡崎 |
| 自由ヶ丘 | 名東 |
| 明治学園 | 斐太 |
| 久留米 | 三原 |
| 宗像 | 桐蔭 |
| 田川 | 安田女子 |
| 近畿大学附属 | 丸亀 |
| 三養基 | 高志 |
| 長崎北 | 岡山 |
| 南山 | 岡山操山 |
| 第二 | 岡山白陵 |
| 大分舞鶴 | 神戸海星女子学院 |
| 唐津東 | ノートルダム清心 |
| 矢部 | 膳所 |
| 中津南 | 星稜 |
| 福山 | 畝傍 |
| 武岡台 | 須磨学園 |
| 延岡 | 大津緑洋 |
| 宮崎西 | 今治西 |
| 鶴丸 | 長田 |
| 錦江湾 | 松山東 |
| | 米子東 |
| | 出雲 |
| | 柳井 |



2015年度

就職先と人数	進学先と人数
住友林業アーキテクト株式会社 コイズミ照明株式会社 大成建設株式会社 西部ガスリビング株式会社 株式会社ニトリ ケイミー株式会社 株式会社阪急阪神百貨店 丸栄産業株式会社 福岡県庁 広川町役場 大川市役所	九州大学 芸術工学府 修士課程 ・芸術工学専攻 環境・遺産デザインコース(7名) ・デザインストラテジー専攻(6名)
大学院修了者の就職先	
福岡地所株式会社 株式会社あい設計 株式会社大建設計 森トラスト株式会社 NTTコミュニケーションズ株式会社 株式会社オーエスピー	株式会社東急コミュニティー ランドブレイン株式会社 株式会社ツクルバ 松下美紀照明設計事務所 福岡市役所 広島市役所

2013年度

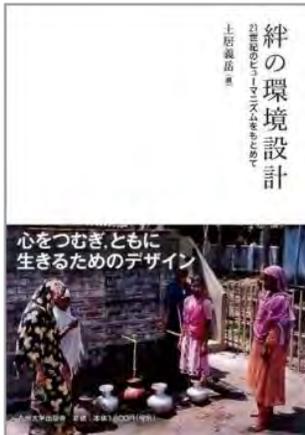
就職先と人数	進学先と人数
株式会社ニトリ パナソニック株式会社 株式会社福岡銀行 第一生命保険株式会社 福岡地所株式会社 福岡市役所 三原市役所 株式会社アクタス 株式会社dci 明光電子株式会社 双日九州株式会社 株式会社エム・シー・ファシリティーズ 株式会社アネシス	九州大学 芸術工学府修士課程 ・芸術工学専攻 環境・遺産デザインコース(9名) ・デザインストラテジー専攻(9名) 東北大学 大学院都市建築学(1名)

大学院修了者の就職先	
大和ハウス工業株式会社 株式会社大林組 日本生命保険相互会社 WDB株式会社 株式会社大創産業	株式会社ニトリ印刷 株式会社三好不動産 丸栄産業株式会社 福岡市役所 北九州市役所

2012年度

就職先と人数	進学先と人数
株式会社平和 有限会社カイカイキキ 株式会社Style&Deco(スタイルアンドデコ) 株式会社ニトリ 遠藤照明 コイズミ照明株式会社 株式会社齊藤工務店 一村産業株式会社	九州大学 芸術工学府修士課程 ・芸術工学専攻 環境・遺産デザインコース(12名) コンテンツ・クリエイティブデザインコース ・デザインストラテジー専攻(4名) 九州大学 総合理工学府修士課程 ・環境エネルギー工学専攻 横浜国立大学 大学院(2名)

大学院修了者の就職先	
福岡市役所 日本測地設計株式会社 株式会社建設技術研究所 株式会社ゼンリン 株式会社ティーケーピー 西武造園株式会社	下関市役所 積水ハウス株式会社 株式会社ブレック研究所 北海道文化放送 HMA建設設計事務所



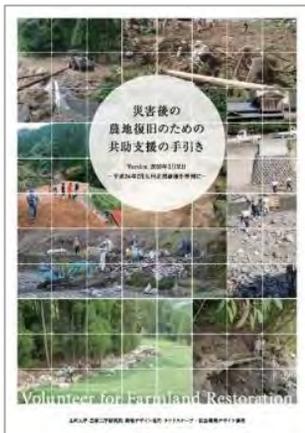
絆の環境設計

土居義岳(編)
九州大学出版会(2014年3月)

近代化による開発、大災害などによる破局のたびに人びとは生きるための環境を回復してきました。

しかし今回の大震災は、以前にあった古き良き状態に復帰するのではなく、人と人、人と自然、人との新しい関係を築くことを求めているのではないのでしょうか。

九州大学の環境設計学科の教員たちが、ランドスケープ、建築、芸術、哲学、人類学、歴史、文化財などを横断してこの大問題を捉えます。



災害後の農地復旧のための共助支援の手引き

朝廣和夫・小森耕太(編集・執筆)
九州大学芸術工学研究院 環境デザイン部門 ランドスケープ・社会環境デザイン講座
(2016年3月)

この手引きは、災害後、被災した農地・農業用施設の復旧において、「共助」、すなわち、地域、地域外の市民、NPO、行政などが協力して行う復旧支援活動の参考となるよう作成した冊子です。制作は、九州大学 芸術工学研究院 環境デザイン部門の朝廣和夫、NPO法人山村塾の小森耕太を中心に、平成24年7月九州北部豪雨で被災した八女市(黒木町、星野村)、うきは市の事例を元に関係機関の協力を得て発行しました。

なお、本手引きは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、社会技術研究開発センター(RISTEX)の戦略的創造研究推進事業、研究開発領域「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」、平成24年度採択課題「中山間地水害後の農林地復旧支援モデルに関する研究」の成果です。

こちらで公開しています。(なお、タイトルをGoogleで検索いただくと、ダウンロードサイトの頁が見られます。)

https://storage.design.kyushu-u.ac.jp/public/Y7ssAA9MaEXAzxwBgthTMCXhzGIAEEX_0fl11-CDxbDX



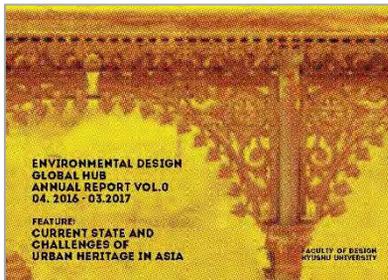
村の暮らしと砒素汚染ーバングラデシュの農村から

谷正和(著)
九州大学出版会(2005年9月)

本書は多くの人びとに砒素汚染の恐ろしさを知ってもらう啓発的な教科書であるとともに、砒素汚染を防止するための外国援助者にとっても「援助する意味」を考えるうえで参考になる実践の書だといえます。

著者はNGOアジア砒素ネットワークと行動を共にしながらバングラデシュ、ネパールの現場で人類学的調査を行い、バングラデシュのシャタム村とマルア村に入り、人類学的な視点から村社会の仕組みや、そこに住む伝統的な村人たちの行動を分析することで得た新しい知的発見と援助する者への教訓を収めています。

第10回 国際開発研究 大来賞(財団法人 国際開発高等教育機構(FASID))受賞



ENVIRONMENTAL DESIGN GLOBAL HUB ANNUAL REPORT VOL.0 04.2016-03.2017

九州大学 大学院芸術工学研究院 環境設計グローバル・ハブ(2017年3月)

2017年1月に九州大学大学院芸術工学研究院内に設立された環境設計グローバル・ハブ(eghub)の年報(創刊号)です。

国際シンポジウムをとおして姉妹校とのネットワークを深めたことの報告、発掘した新資料にもとづくカンボジア近代建築展の紹介、シンガポールと香港の大学との国際ワークショップの経験、取り組んでいる国際的研究テーマなど、環境設計グローバル・ハブの多様な国際交流についてとりまとめています。

・年報の一部は、下記サイトで公開しています。

<http://www.kidnext.design.kyushu-u.ac.jp/publications/?lang=en>



デザイン教育のススメ

～体験・実践型コミュニケーションを学ぶ～

朝廣和夫・尾方義人・古賀徹・近藤加代子・谷正和・田上健一・富板崇・平井康之(著)
花書院(2012年3月)

本書は、体験型のデザイン教育の普及を目指した事例集です。社会の中から問題を発見し、身体をフル活用しながら創造的に解決していく能力。これをどのように身につけていくのか。また、どのように授業デザインを行えばよいのか。九州大学大学院芸術工学研究院の8名の教員により、「1 テキストリテラシー」、「2 スケッチ」、「3 ワークショップ」、「4 設計と地域」、「5 ものづくりと工房」、「6 自然環境とNPO連携」というテーマで執筆されています。各テーマの授業デザインに焦点を絞ると共に、学内ワークショップによる課題の検討や、教員アンケートによる授業デザイン項目の実施状況などもあわせて掲載しました。

なお、Amazonなどで購入可能です。(約1,543円)

環境設計学科では、現在、下記のホームページを公開しています。
 これまでの卒業設計の紹介や、授業の紹介等を行っていますので、こちら
 をご覧ください。

<http://www.ed.design.kyushu-u.ac.jp>



環境設計学科の教員を中心とした芸術工学研究院の部局内センター「環境設計グローバル・ハブ」(英語名称: Environmental Design Global Hub、略称: eghub)が発足しました。

eghubの活動はウェブサイト(<https://www.eghub.design.kyushu-u.ac.jp/>)やfacebookページ(<https://www.facebook.com/eghub.ku/>)で発信していますので、是非ご覧下さい。

eghub

Home Statement Members Partners

16/03/2017 Masaki Iwanoto
"New Khmer Architecture and Japan" at National Museum of Cambodia
 "New Khmer Architecture and Japan" is the first show in Cambodian History to focus on the architectural drawing

Recent Posts

29/03/2017
"Steel Beam" Archaeology for Building Design History in Developing Countries

29/03/2017
A Comparative Study on the Plan of Extension of Paris and of Osaka in the Debut of the 20th Century

29/03/2017
Lay Believers' Contribution in Construction and Maintenance of Religious Heritage

29/03/2017
"Steel Beam" Archaeology for Building Design History in Developing Countries
 Objectives The objective of this study is to develop a chronological method by physical attributes of steel/ir

検索 ...

- Home
- Statement